

豚、羊、仔牛用
脱疾治療用器具

PFチューブ(無血脱肛治療チューブ)

- 米国で開発された治療機器
- 脱肛を治して最適出荷で利益確保
- 治療コストの削減も図れます
- サイズ別、子豚から成豚、子牛まで
- 全サイズ揃ったセットもあります

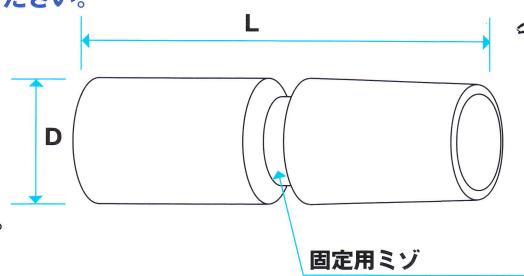


- 挿入、結紮(縛る)だけでOK
- 切らずに治します
- 癒着が起こりにくいで
- 整復処理も不要です
- 治療の合理化、省力化が図れます

◎製品構成&適用

製品記号	サイズD(外直径)	サイズL(長さ)	個数/箱	適用患畜例
PF-S S	16mm	44mm	15個	乳子豚
PF-S	19mm	51mm	20個	18kg以下の子豚
PF-M	25mm	57mm	20個	18kg以上の子豚
PF-M L	32mm	64mm	15個	小型成豚
PF-L	38mm	76mm	10個	並型成豚
PF-L L	51mm	95mm	10個	大型成豚及び仔牛
PF-S E T	SS~L : 各3個およびLL : 1個、合計16個がセットになっています。			

●mm表示は概略換算値です。

●上記適用患畜は標準例です。脱疾発生からの経過時間を加味してサイズ選択を行ってください。
またサイズは可能な限り大きい径を使用してください。

◎治療手順

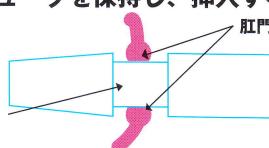
1 選択する

SS~L Lから適切なサイズのチューブを選択。

2 チューブを挿入する

挿入は固定用ミゾに肛門が位置するように行う。

(挿入例: カンシにてPFチューブを保持し、挿入すると容易に適切な位置に装着できます)



3 結紮する

脱疾部を固定用ミゾのところで幅広の紐(幅6~8mm)にてしっかりと結紮する。またL, L Lについては固定用ミゾには孔が設けてあるのでここへ紐を通してチューブを固定してください。

4 隔離観察する

処置後患畜を隔離、経過を観察。処置後4日~5日で脱疾部は自然に脱落します。